

実践記録

学校/学年	小学校 / 2年	
教科等：单元名	道徳： 悪口の広がり方	
キーワード	誹謗中傷	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	<input checked="" type="checkbox"/> 情報社会の倫理 <input type="checkbox"/> 法の理解と遵守 <input type="checkbox"/> 安全への知恵 <input type="checkbox"/> 情報セキュリティ <input type="checkbox"/> 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	a 1：発信する情報や社会での行動に責任を持つ e 2：情報を正しく安全に利用することにつとめる
	中目標項目番号 中目標項目内容	a 1-1：約束やきまりを守る e 2-1：情報には誤ったものもあることに気づく
授業会場	<input type="checkbox"/> パソコン教室 <input checked="" type="checkbox"/> 普通教室 <input type="checkbox"/> 特別教室 [] <input type="checkbox"/> その他 []	
学習の目標	うその情報が広まると、みんなが迷惑することがわかり、インターネットを通しての情報発信に対して慎重に考えようとする。	
使用教材	教材名	さるおくと学ぼう
	製作者	不明（個人サイト）
	入手先(URL等)	http://www2.odn.ne.jp/yuki-yuki/menu.html

○展開案

	学習活動	指導 評価◎
導入	・ 日常生活で、落書きによる誹謗中傷について考える。	・ 相手に直接言うのに比べ、多くの人の目に触れてしまい、相手や家族、その他大勢の人に迷惑をかけることに気づかせる。
展開	・ パソコンやケータイの書き込みによる誹謗中傷について考える。	・ 「さるおくん」のサイトを見て、壁への落書きに比べて比べものにならないほど多くの人の目に触れることを押さえつつ、その訂正や削除が不可能に近いことを補足して説明する。
おわり	・ 本日の学習についてまとめる	◎悪口を書くことで多くの人に迷惑をかけることがわかる。 ◎情報の発信について慎重になれる。

○ 授業の成果

- ・ 日常生活での行いと、インターネット上での行いは、同じようで、影響の大きさは桁違いと言うことを知り、多くの児童がインターネットで悪口を書くことの怖さを実感していた。